

二世安楽の御詠歌

松濤 基 作曲

白石 洋子 振付
相馬 良子

準備		「左生」「右生」に別れ(間隔約1m)正座し、扇を前に置き、合掌してから両手膝に置く
唱え奉る二世安楽の		静かに合掌
歌	左 生	右 生
御詠歌に	右手で扇をとり左手を添えて 左足をくずして静かに立ち 両手ももにつける	左手膝、右手で扇をとり、斜め右に向きつ つ、左膝を立て、右手横におろし、扇の先を 下につける 左手を左足ものの上に置く
⑤の	扇を胸前で開き	
ち		
の	水平のまゝ要を手前に引き	
よ	左手を右手の下に添える	
も	扇を左斜め上に捧げる	
―		
―		
―		
⑤の		扇を両手胸前で開き
ち		
の		水平のまゝ要を手前に引き
よ		左手を右手の下に添える
も		扇右斜め上に捧げる
―		
―		
―		

歌	左 生	右 生
(休)	右足を左足の後に引いて斜め右向となり	立ちあがり、左足から右廻りに歩いて左生に向き合う (扇は胸前に保持)
こ	右膝をつき右手で扇の要を持ち、	
の	左にくると廻しながら下に向け、表は内	
よ	側。	
も	左手は扇の内側より左斜め下向きに伸ばす (顔は左手のほうに向ける)	
と	扇、右に廻しながら表を上にして、右生の 扇の下に捧げる様にする	左手で右生の扇の上に捧げる様に右足一歩 前に出し、右手は右斜め下方に伸す
ー		
も		
に	顔は見合わす如くする	顔は見合す如くする
な	体正面に向き立ちあがり(立ったとき左足 が前) 扇は両手で眼前に捧げる	左生に同じ(右足を正面に向ける、立ったと き右足が前)
ア		
ー		
む		
ー		
⊕ あ	扇は表を左に向けて立て、眼前で合掌	左生に同じ
み		
ー		
だ	(右足を左足に揃える)	(左足を右足に揃える)
ぶ		
ー		

歌	左 生	右 生
つ	膝を曲げて、静かに低頭	左生に同じ
丨		
丨		
(休)	膝を伸ばしながら、扇右脇で閉じる	
⊕ ほ	左斜め前方を扇で指し、左足一步前	右斜め前方を扇で指し、左足一步前
と け		
ま か	右足一步前 膝を曲げて、左手上に捧げ、	左生に同じ
せ の	低頭して、扇は右腿に置く	
⊕ ほ	扇を倒し持ちにして、 手は肩の高さにして右に流し	左生に同じ
と け	小走りに左廻り	
ま か		
せ の		
(休)	正面に向き 両手両斜め下に	左生に同じ
み 丨	右足を引き、右手胸に当て	
こ	右膝をつく	
丨	左手を右手に交差する	

歌	左 生	右 生
そ		左生に同じ
(休)	そのまま正座	
(休)		
や 	扇 胸前に捧げ	
す	静かに上げてゆき	左生に同じ
	扇を眼の高さまで捧げる	
け		
れ	扇、静かに下ろし	左生に同じ
	膝前に置く	
(休)	合掌	